

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)

2022-2023年度 国際ロータリーテーマ

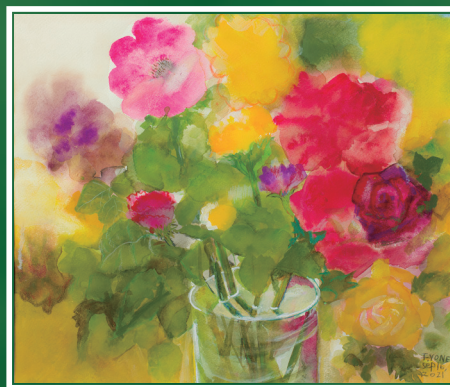
イマジン ロータリー

R.I.会長 ジェニファーE・ジョーンズ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 上沢 広光

2022-23年度 上田ロータリークラブ

- 会長 矢島 康夫 ●副会長 小幡 晃大・三井 英和
- 幹事 櫻井 雅文 ●会報委員長 酒巻 弘



第2884回例会 (令和4年10月17日)



ホームページQR

[会長挨拶]

小幡晃大 副会長代読

本日、所用のため例会を欠席させていただきます。また、本日は、ゲストとして曹洞宗日輪寺の酒井泰寛さんをお迎えし、ゲストスピーチをお願いしております。酒井さんとは、私の家の菩提寺であります同じ曹洞宗の興善寺や消防団でお付き合いをさせていただいています。



今から11年前、東日本大震災が起きた2011年は、曹洞宗の本山の一つの総持寺(もう一つは、福井の永平寺)が、能登の祖院から鶴見の地に移転した年から100年の節目の年でした。酒井さんは、この100年の重みを感じながら震災復興を念じつつ、15日間かけて能登の地から鶴見まで徒歩で行脚した経験をお持ちです。この行脚から得られた体験は、後の活動に大いに生かされています。本日は、この体験や後のボランティア活動等の経験に裏付けられた楽しいお話が聞けると思います。拝聴できないことを本当に残念でなりません。

[ゲストスピーチ]

日輪寺 住職 酒井泰寛 様

「死に向き合った終活」

10年ちょっと前より、よく終活という言葉に耳にするようになりました。



皆さまもよくご存じだと思いますし、すでに活動をはじめられている方もいらっしゃると思います。本日は仏教的にみた終活、「死に向き合った終活」という演題でお話をいたします。

さて、「終活」って一体、何だろう？正式には終末活動ではありますが、調べてみたところ、辞書では「人生の終末を迎えるにあたり、延命治療や介護、葬儀、相続などについての希望をまとめ、準備を整えること。」また他の書籍には『2009年に「週刊朝日」で連載された「現代終活事情 変わりゆく葬儀のかたち」で初めて用いられた言葉である。翌年からは関連書籍が相次いで発売される「終活本」のブームが起これ、2012年にはユーキャン新語・流行語大賞のトップテンに選出された。「終活」という言葉が注目された背景には、無縁社会や孤独死が社会問題になったことなどがあるといわれる。』とありました。

では一体どのような事をするのが終活でしょうか？

多くの方は自分に訪れる死に向けて、物事を整理したり、貯金や保険などを家族にわかるように整理したり、一般的に一番取り入れられているのは、そのような内容が入っているエンディングノートを使用している方が多いのではないのでしょうか。

では、「終活」はいつから行うべきでしょうか？

内河さん、いつからでしょう？

「今ですかね」

はい、今からでも良いでしょう。明日忘れていなければ…

斉藤さん、いつからでしょう？

「やはり今からだと思います」

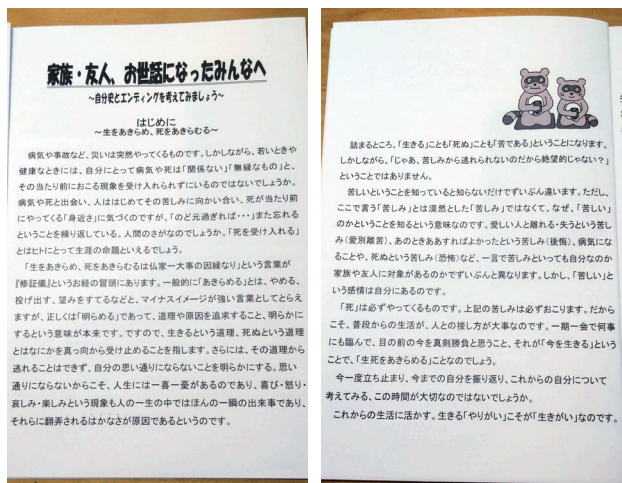
今、お二人の方から「今」というお答えをいただきましたが、間違っていない。私の考える、終活を始める時というのは、正確には自分に訪れる死をしっかりと考え受け止められた時からだと思います。実際、本当は物心つき学び始めた小学生のころがベストだと思います。

しかし、学校教育では保健や道徳などの授業があっても、「皆さんは必ずいつか、死にますよ。」という内容の授業はやってないですね。また、私もそうなのですが、お父さんお母さん方もなかなか我が子に死をしっかりと伝えることはできていない、もしくはさらっと伝えるくらいでしょうか。可愛い我が子に死の恐怖を自ら伝えなくても、成長していく中で理解していくと思ってしまう。

以上のことから、日常、仲間や親族などの葬儀や大切な人の死に触れて、自らの死も考えるのですが、喉元過ぎれば、まだ大丈夫だろうと高を括り、世の平均寿命が近づいてくるといよいよ考え出すという方が多いのではないのでしょうか。

では、世間の考える「終活」と、仏教的「終活」の違いは何なのでしょう？

ネットで終活やエンディングノートといった言葉で検索しますと、多くは保険会社、葬儀会社、介護に関する会社のサイトにある終活についてのページが出てきます。終活が直接商売につながる方ですね。大抵そのようなサイトにある終活の為のチェックリストなどを行うと、良い生命保険を勧めてきたり、葬儀の打ち合わせができます、良い介護施設で残りの人生を、といった内容が提示されてくるようです。世間のいう終活の多くは、家族に何を残し、どんな葬儀を望み、それまでの期間をどこでどのように暮らすかを考え行動を起こすことのようにです。仏教的な終活とは本日参考の為ににお配りしましたエンディングノート、こちらは仲間の和尚さんがお坊さん目線、すなわち仏教的概念からエンディングノートを作ろうとなりでき上がった物ですが、その1ページ目に書いてありますので、読んでみたいと思います(笑い上手は生き上手をご参照ください)。



エンディングノート

ここに書いてある通り、まず大事なことは、生きるという道理、死ぬという道理を逃げずに真っ向から受け止めることが大切なことです。これが無ければ終活など始まりません。自分の死としっかり向き合うことが必要なのです。

私は、父である前住職が昨年亡くなりました。父の死を通し、私はこの一年の間で何度か、自分に訪れる死を考えました。和尚として死というものは常に近くにあるものの、父が元気な頃は私の順番は父の後という勝手な思いからか、本当に真剣に我が死を考えていなかったとつくづく感じました。

私は死を考えた時、怖いとかでは無く、とても多くの不安に苦しみました。不安とは、お寺のことや家族のこと、今受けている様々なお役のことなど頭によぎる不安は尽きません。とりあえず、ノートに書き出してみようと思い書きました。この書き出した不安を一つ一つどうしたら良いか考えてみると、お寺のことはもっとこうしていこう、子供に対してはこういう言葉を伝えていこう、といったように、気づいたら、死を考えていたはずがいつの間にか明日からの生き方を、生活の仕方を考えていました。

死を考えるということは、同時に生きるということを考えていることに他ならないのです。生と死を二つに分けて考えるのではなく、死によって生が明らかになり、生によって死の問題が浮上してくるということでもあります。

「生死一如」⇒自らの死を考え受け入れる＝明日からどう生きるか考える

その行動をより良くしてくれるためにあるのがエンディングノートだと思います。まずは一度立ち止まり、今までの自分を振り返り、これからの自分について考えてみる、この時間が大切です。本日お配りしたエンディングノート、ご自宅で真剣に向き合って書いていただければと思います。あとであとでとならないようお気を付けてください。

私は終活の一つとして生前戒名を頂くことをお勧めいたします。

よく生前に戒名を頂くんて、お迎えが早く来そうで嫌だ、といった内容を耳にしますが、私が感じるころは逆です。むしろ生前戒名を授けた方は皆さま本当に長生きをしています。なぜかなと思い、生前戒名を授けたおばあちゃんに話を聞きました。

おばあちゃんの話によると、頂いたお戒名はその時の自分には勿体ないくらいの意味と漢字でできていたそうで、その時から残りの人生を少しでもそのお戒名に恥じない生き方をしようと色々と考え節制した為で長生きができていたのではないかということでした。なるほどなあと思いました。

そもそも自分に頂く名なのに自分は知らないというのもおかしいことですね。私からしたら生前にお戒名を頂くことはメリットしかないと思います。まず一つ目に自分のお戒名を見れる、二つ目に自分自身で和尚さんにお話をするので希望の漢字があれば相談もできる。三つ目に子供や家族に任せておいたら今の時代、直葬といって戒名なしで送られてしまう心配もない、といったようにほかにもまだまだ良い点、メリットあります。

皆さまも、もし良かったら生前戒名について菩提寺のご住職さまにご相談されては如何でしょうか？それもまた終活の第一歩となります。

[幹事報告]

櫻井雅文 幹事

1. RI日本事務局

10月ロータリーレート
お知らせ145円

2. 地区事務所

地域社会の経済発展月間
リソースのご案内

2022-23年度地区大会「会長・幹事会」開催のご案内
「地区大会信任状」提出のお願い

地区大会における2021-22年度ロータリー賞表彰について

3. 東御RC 解散のお知らせ

4. 豊かな環境づくり上小地域会議

令和4年度(2022年度)きれいな信州環境美化運動
「ごみゼロの日」

統一美化キャンペーンの実施結果及びきれいな信州
美化キャンペーンの実施について(通知)

5. 例会変更

小諸RC	10月12日(木)	定受なし
	19日(木)	定受なし
	11月2日(木)	定受なし
	23日(木)	定受なし
小諸浅間RC	10月13日(木)	定受なし
	20日(木)	定受なし
	11月3日(木)	定受なし
	10日(木)	定受なし

17日(木) 定受なし

24日(木) 定受なし

上田西RC 10月13日(木) 定受なし

20日(木) 定受なし

11月3日(木) 定受なし

6. 会報恵送 上田西RC、東近江RC、小諸浅間RC
小諸RC、松本西南RC

[ニコニコBOX]

関 勇治 委員長

石井懋人さん 出田行徳さん
内河利夫さん 小幡晃大さん
金子良夫さん 柄澤章司さん
北村修一さん 窪田秀徳さん
桑原茂実さん 小林浩太郎さん



小林秀茂さん 小山宏幸さん 齊藤達也さん 酒井喜雄
さん 酒巻弘さん 櫻井雅文さん 滋野真さん 島田
甲子雄さん 関啓治さん 関勇治さん 高橋鼓さん
滝沢秀一さん 田中克明さん 田中健一さん 田原謙治
さん 成澤厚さん 布施修一郎さん 宮川泰さん 柳澤
雄次郎さん 横沢泰男さん 米津仁志さん 保科茂久さん

本日喜投額 32名 ￥ 42,000

累 計 ￥629,000

[例会の記録]

司会：石田真人 委員

斉唱：ロータリーソング

「それこそロータリー」

●ゲスト紹介

●会長挨拶

●幹事報告

●ゲストスピーチ 日輪寺 住職 酒井泰寛様



[ラッキー賞]

布施修一郎さん

(田邊利江子さんより、黒船ハーバーのショコラクルミ)

横沢 泰男さん(北村修一さんより、日本酒立山)

金子 良夫さん(米津仁志さんより、パンビのパン)

櫻井 雅文さん(島田甲子雄さんより、じゃこ)

高橋 鼓さん(林秀樹さんより、クッキー)

内河 利夫さん(上島孝雄さんより、ラスク)



[出席報告]

石井真人 委員



	本日	前々回 (9/26)
会 員 数	58	58
出席ベース	54	53
出席者数	43	38
出席免除(b) ()内は出席者数	7(3)	7(2)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ()内は Make up 後		6(46) コロナ欠席2
出席率	83.33	86.79

[本日のランチ]

- 銀カレイと木ノ子のココット(蒸し焼き)
- 蒸し鶏と胡瓜の胡麻だれ
- 桜の葉豆腐
- くわいサラダ
- ご飯 ●味噌汁
- フルーツ(柿・林檎)



[次回例会予定]

10月31日(月) ボーイスカウト・ガールスカウト賛助金
贈呈
「ロータリーの友」紹介

(10月24日発行)

【会報担当】 斉藤達也 副委員長

「ロータリーの友」手引書より

●『ロータリーの友』は 日本におけるロータリーの機関誌

『ロータリーの友』(以下『友』)は、国際ロータリー(RI)の認可を受け、RotaryWorldMagazinePress(『TheRotarian』とロータリー地域雑誌の総称)の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です(P2~3に掲載)。地域雑誌としての『友』は、ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブがRIと直結していると実感するためにも必要な媒体です。

2013年規定審議会で、ロータリー地域雑誌について、会員は印刷媒体か電子媒体のいずれかを選択して購読することができるようになりました。それを受けて、ロータリーの友委員会ならびに一般社団法人ロータリーの友事務所では、電子版の『友』を2014年1月号から発行しています(www.rotary-no-tomo.jp)。

●『ロータリーの友』はロータリーについての情報誌

世界や日本におけるロータリーの状況や活動について、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有できるような編集、より身近でより親しまれる編集を心がけています。ロータリアン以外の方にお読みいただいてもロータリーのことをお分かりいただけるように編集していますが、基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。

●『ロータリーの友』はロータリアンの公開討論の場

『友』の縦組みのページにはロータリアンとしての意見や経験談、職業上の知識などを掲載して、ロータリアン同士が議論し、交流を図る「広場という空間」を提供します。この広場にはたくさんのロータリアンがやってきて話し合い、旧交を温め、新しい出会いを喜ぶ……

そんなロータリアンたちが行き交うことのできる『友』をイメージしています。